



新潟市立潟東中学校 学校だより

令和5年3月5日(火) 第27号

# 希 望 橋

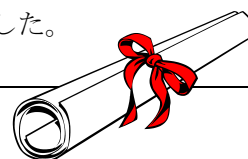
教育目標 豊かな心もち たくましく伸びる生徒

電話 0256-86-3007

## 第77回 卒業証書授与式

3月4日(月)

3月4日(月)、42名の卒業生が立派に巣立ちました。4年ぶりに全校生徒での卒業式となりました。厳粛な中にも、感動的な素晴らしい卒業式でした。特に、卒業生代表による「答辞」は、コロナ禍で中学校生活を送ってきた三年間を振り返り、ともに過ごした仲間との絆、これまで支えてくれた保護者の皆様をはじめ、周りで応援して下さった方々への感謝の気持ちにあふれていました。



### 答 辞

三月としては珍しく雪の降り積もった新潟にも、春の足音を確実に感じる頃となりました。本日は私達42名のためにこのように心のこもった式を挙行していただき、ありがとうございます。

また、ご多忙の中、ご出席くださいましたご来賓の皆様、先生方、保護者の皆様、在校生の皆さん、卒業生一同、心より御礼申し上げます。先ほどより、皆様からいただいた数々のお祝いや激励のお言葉を胸に、本日、私達42名は、多くの思い出を胸に、卒業いたします。

私たち三年生は、小学生の頃からの仲間と新しい制服に身を包み、新しい環境に期待と不安を胸に膨らませながら、この潟東中学校へ入学しました。

思い起こしてみると、潟東中学校で過ごした三年間はあっという間でした。先生方や同級生との別れはつらくもありますが、何気なく過ごしてきた仲間たちとの時間は、今となってはかけがえのない時間に思えます。潟東中学校での充実した時間の中で、私たちは多くの思い出ができました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の規制が緩和され、コロナ禍前の生活に戻りつつある年でした。そのような中で、修学旅行というかけがえのない体験をさせていただきました。長野でのそば打ち体験や味噌づくり体験、善光寺の参拝、山梨県で見た富士山の雄大な姿、小さな声で夜遅くまで友達と交わした何気ない話、仲間と最高の思い出を作ることのできた旅行になりました。

生徒会スローガン「勇往邁進」。今年度は、コロナ禍の前のように、前年度までできなかった「新しい取り組みを多くやろう」「全校生徒の絆が深まるものにしよう」とたくさんの方の行事の中で、全校生徒が一丸となり、全員で楽しめる企画を数多く、行うことができました。

黄連、青連、二つの連合にわかれ、競技や応援、バネルを競った体育祭。

練習の時から各連合ともに盛り上がり、当日は、勝敗に関わらず「楽しもう」という雰囲気でお互いの健闘を讃え合いました。今年度は声を出して応援をすることが出来るようになり、昨年度よりもさらに迫力と一体感のある応援やダンスパフォーマンスを見せ合いました。

それぞれの個性が輝いたパネル。そして、全校の皆さんにも協力してもらって、昨年とは違った競技を取り入れるなど、生徒の皆さんの笑顔とやる気が溢れる体育祭となりました。命の尊さと、友達への想いを歌った「群青」、世界の平和を描いた「HEIWAの鐘」。合唱発表会では、三年生として、最後の合唱ということもあり、全員が集中し

て取り組み、本番では中学三年間で一番の歌声をホール中に響き渡らせることができました。

明風祭では、スローガンを『Unity～輝きのある祭りをもう一度～』と定め、コロナ禍前の明風祭に近づけることを目標にしました。今年度は、保護者の皆様をお招きすることができ、例年よりも活気あふれる行事となりました。また、今年は明風祭の前に謎解きと宝探し要素を合わせ、全校生徒が協力して参加できる、新しいイベントを行いました。協力して、知恵を出し合い、楽しんでいる姿も見られ、正に輝きのある明風祭にすることができました。

三年間、仲間と切磋琢磨しあった部活動。市内大会やコンクールは今年度も無事に開催されました。これらの大会に向け、練習をしていく中で、努力し合い培った仲間との深い友情は、唯一無二のものになりました。

在校生の皆さん、皆さんには、明風祭や体育祭などの行事で、たくさん支えてもらいました。これらの行事が成功したのも皆さんが協力してくれたおかげだと思います。

私たちは今日でこの瀧東中学校を卒業します。これからは皆さんがこの瀧東中学校の伝統を引き継ぎ、次の世代へ引き継いでいく番です。

中学校生活は、あっという間に過ぎていきます。うまくいかないこともあると思いますが、周りには手を差し伸べてくれる仲間がいること忘れないでください。そして、後悔のないように、一日一日を大切にして学校生活を楽しんでください。

今、思い起こしてみると、入学してからの三年間、私たちが勉強や部活動に全力で取り組めたのも、校長先生をはじめとする先生方の熱心なご指導があってこそだと思います。私たちを温かく見守り、悩んだ時には寄り添って、相談に乗っていただきありがとうございました。先生方が私たちに与えて下さったことを活かして、これからも邁進していきます。

保護者の皆様、今日まで大きく成長してこられたのも、保護者の方々のおかげです。本当にありがとうございました。冷たい態度を取ってしまうこともあり、心配ばかりかけてしまいました。それでも、私たちを励まし、寄り添い、不安を和らげてくれる、その温かさに何度も救われました。これから、私たちが自信を持って、親元を巣立てるように、私たちをこれまで以上に温かく導いてください。

そして、今日ともにこの学校を卒業する卒業生の皆さん。私たちが瀧中生としてこの学校で過ごすのも今日で最後となりました。しかし、私はまだ実感が湧かず、明日もまだ中学校生活が続いていくような気がします。教室では、何気ない出来事を話し、休み時間には、体育館やグラウンドに出て遊び、放課後には、友達と話しながら家へ帰る、そんな当たり前の日々が終わってしまうのは、とても寂しいですが、私たちは一步一步進んで行かなければなりません。それぞれ進む道は違いますが、この瀧東中学校での仲間との思い出や経験を胸に、歩んでいきたいと思います。

最後になりますが、私たちを支えて下さった全ての方に心から御礼申し上げますとともに、瀧東中学校の更なる発展をお祈りし、答辞とさせていただきます。

令和六年三月四日

卒業生代表

